

育てたい子ども像
 約束や決まりを守る大切さを知り、自他を大切にしようとする子ども

発達段階	育てたい子ども像	主題名・教材名 学習活動	考える道徳、議論する道徳に向けた工夫	
			発問例	評価
小学校	約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に 子ども	きまりをまもって「どうしてこうなるのかな」 学校の中の困ったようすを考えるを通して、きまりや約束の大切さに気付く。	きまりや約束を守らないとどうなるでしょう。	自己中心的な行動はみんなを困らせる行為であることに気付き、きまりや約束を守る大切さに気付くことができました。
		みんながつかうばしょでは「みんながつかうばしょだから」 注意をされても校庭でボールをけってしまった登場人物の気持ちを考えるを通して、みんなが使う場所でのきまりや約束について考え、話し合う。	めぐみさんの言葉を思い出したしんじくんはどんなことを考えていたでしょうか。	登場人物の気持ちを考えるを通して、みんなが使う場所での約束やきまりを守ることの大切さを理解することができました。
		みんなが使う物「さいりい ベンチ」 登場人物の気持ちになって、みんなが使う物を大切に使うことについて考える。	女の子の服を汚してしまったことに気が付いたとき、二人はどんなことを考えたでしょうか。	女の子の服を汚してしまったときの二人の気持ちを考えるを通して約束やきまりについて考え、みんなが使うものを大切に扱うことが必要であると理解することができました。
		きまりをまもって「どんなきまりがあるかな」 挿絵にある周囲の人の表情に着目して考えるを通して、きまりを守らなければならない理由について考える。	きまりを守らないとどんなことが起こると思いますか。	周りの人の視点に立って考えるを通して、きまりがある理由やきまりを守らなければならない理由について理解することができました。
		きまりの意味「きまりのない国」 きまりがない国に行ったときの主人公の考えを通して、きまりがあることのよさに気付き、きまりを守ろうとする。	きまりのない国に行って、けんたはどんなことを思いましたか。	約束やきまりを守るものの大切さに気付き、きまりがあることのよさやきまりを守るものの重要性に気付くことができました。
		やくそくを守って「かるた遊び」 かるた遊びの約束を考える千歌のクラスの様子を通して、きまりの大切さを考えさせる。	約束を守ることは、どうして大切なのだと思いますか。	これまでに約束やきまりを守ってきたかを振り返り、きまりの大切さについて改めて考えることができました。
	約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守る子ども	みんなの場所で「このままにしていたら」 「ぼく」の行動と気持ちを通して、規則の尊重について考えさせる。	飛んでいったビニール袋を拾いに行かなかったのをどう思いますか。	規則やルールを守れなかったことがないかを振り返り、何のために規則があるのか考え、理解を深めることができました。
		きまりは何のために「雨のバス停留所で」 並んでいた人を抜かして、バスに乗ろうとしたよし子は後にどのようなことを考えたのかを話し合う。	よし子は自分のしたことについてどのようなことを考え始めたのでしょうか。	周囲の人のことを考えずに自分勝手になってしまったことはないか振り返り、きまりを守ることによって自分だけでなく、周囲の人も気持ちよく生活できることに気付きました。
		自分の役割を果たす「わたしは飼育委員」 委員会活動の役割について、自分の役割が学級や学校をどう支えているのかを話し合う。	加菜は、なぜ自分だけ損をしたと思ったのでしょうか。	これまでに集団における役割を果たしてきたかを振り返り、仕事をするのが学級や学校をどう支えているのか、考えを広げることができました。
		よりよいきまりとは「公園のきまりを作ろう」 公園のきまりについて考え、公共の場を気持ちよく使うためのマナーや約束を話し合う。よく利用する公共の場所について考え、今までに公共の場を気持ちよく使おうとしたことがあるか話し合う。	この公園の入り口の看板にきまりを書くとしたら、どのように書きますか。	きまりについてこれまでを振り返り、意義を考え、どう向き合っていくのがよいか、自分のこれから考えることができました。
		自分の判断で「マイルール」 電車やバスでのマナーやきまりについて確認し、それらを守るため自分が正しいと判断したマイルールについて話し合う。	すっかり埋まった座席を眺めながらため息をついたとき、私が考えたことはどんなことですか。	マイルールを作るにより生活がどう変わるか考えることにより、もの見方を広げ正しいと信じることを実行しようとする意欲を育てることができました。
		自分の役割を果たす「子ども会のキャンプ」 班長としての役割について考え、その役割を果たすためにどんな考えが大切かを話し合う。	このキャンプは、なぜ明菜の心に残る思い出になったのですか。	班長などの役割について考え、友達の見方や考え方を知らぬことにより、さらに自分の考えを広げることができました。
中学校	法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努める子ども	「仏の銀蔵」 法やきまりがなぜ存在するのか、きまりを守る心を支えているものは何かを話し合う。	「お天道様」とは、銀蔵や人々にとって何だと思いますか。	法やきまりを守る意義について、人の心や社会性など、さまざまな面から考えている。
		「雨の日の昇降口」 登場人物の気持ちになって、きまりを守るものの大切さや公德心について考える。	「僕」は山村君が突き出した傘に手を伸ばしたとき、どんなことを思ったでしょう。	話し合いを基に、きまりを守ることや公德心の意義について、さまざまな視点から考えている。
		「民主主義と多数決の近くて遠い関係」 法やきまりの意義、自他の権利について考え、民主主義の考え方を押さえながら、よりよい社会の実現に向けて必要なのはどんなことか話し合う。	集団や社会で何かを決めようとするとき、大切なことは何だろう。	「好きな案」と「望ましいと判断する案」との違いに気付き、一人一人の意見を共有しながら、全体にとって何がよいのかという視点で考えることができた。民主主義の理念に基づいた話し合いの中から、少数派の意見も尊重した上で、決めたことは一人一人が責任をもつことが大切であると理解を深めていた。
	法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努める子ども	「無人スタンド」 規律のある安定した社会をつくるために、どんな考えが必要か考える。	「無人スタンド」を成り立たせているのは何だろう。	他者と協力したり、互いを信頼しなければ、規律のある安定した社会は成り立たない。相互の信頼関係が社会をつくる基盤となっていることについて考えを深め、よりよい社会の実現に向けて主体的に関わろうとする意欲をもつことができた。
		「闇の中の炎」 法やきまりを守る心の源とは何かを考え、話し合う。	夢中で鉛筆を走らせている理沙は、何を考えているのだろうか。	ものごとの判断基準が法やきまりだけではなく、人間としての生き方にもつながっている。良心の呵責からくる心の葛藤に打ち勝ち良心に従って行動していくことの価値を見いだす。法やきまりだから守るということだけでなく、人としての良心が判断基準になっていることにも気づき、正しい判断をするものの大切さを導き出すことができた。